

【不登校支援事業】多様な居場所づくり及び保護者支援の充実について(報告)

日頃より教育支援センターの教育相談事業にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和7年度より、不登校支援事業として、学校外の居場所づくり（大学内居場所・仮想空間・ひみつきち）や保護者支援の充実（保護者交流会の拡充）を行っております。また、不登校生徒の進学悩みや不安解消のために、多様なタイプの高校（チャレンジスクール、通信制高校など21校）にお越しいただき、教育支援センターで進学先個別相談会を実施いたしました。

今後も引き続き、安心して過ごせる居場所づくりのさらなる推進及び保護者支援の充実を図り、多様な学びの場の確保や児童・生徒及び保護者への相談体制の強化を行ってまいります。

1 学校外居場所づくり（大学内居場所）※令和7年度新規事業

（1）実施場所

東京家政大学（6月より実施）、淑徳大学（7月より実施）

（2）実施内容

学習・相談支援、ワークショップ等の体験学習の実施、学生との対話

（3）参加者

① 東京家政大学 6月実施（第1回目）：11名（小学生10名、中学生1名）

7月実施（第2回目）：9名（小学生9名）

② 淑徳大学 7月実施（第1回目）：2名（小学生1名、中学生1名）

※参加した児童・生徒の状況については、交換便にて在籍校にお知らせしております。

※9月以降も定期的（月1回程度）に実施してまいります。



【学生との体験学習の様子】



【参加児童による作品】

2 若手人材（学生）による支援 ※令和7年度新規事業

板橋フレンドセンターでの通級生の活動補助員として、学生（実習生や有償ボランティア）を継続かつ定期的に受け入れ、フレンドセンター通級生とのかかわりを積極的に行った。

（1）東京家政大学（心理カウンセリング学科学部生） ※令和8年3月まで受入れ

5月から7月まで述べ85人（247時間従事） ※学生の来られる曜日で活動（曜日固定）

（2）学習院大学（実習生）※令和7年11月まで受入れ

6月から7月まで延べ140人（840時間従事） ※4人1組で一週間活動

3 学校外の居場所づくり（仮想空間・ひみつきち）※令和7年度新規事業

(1) 実施場所

板橋フレンドセンター（フレンド心理支援員が運営主体者）

(2) 利用の流れ

6月より対象者を選定し、各居場所の利用案内を送付し、利用希望者は教育支援センターに申請する。

(3) 初回対象者・利用案内送付者

79名に対して、在籍校に照会し、37名に利用の案内を送付

(4) 申込・利用状況（8月末時点）

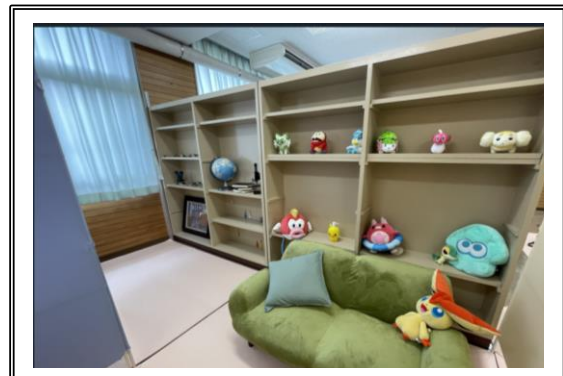
9名の申込があり、5名が仮想空間を利用（初回のみのログイン者も含む）

(5) ひみつきちへの移行（8月末時点）

5名のうち1名がリアルな居場所（ひみちきち）を利用



【ひみつきち(居場所)の入口】



【ひみつきち(くつろぎスペース)】

4 保護者支援（保護者交流会）※令和7年度拡充事業

(1) 実施状況

第1回：7月5日（土）中学生の保護者対象 46名参加 ※申込定員40名から60名へ増枠

第2回：7月12日（土）小学生の保護者対象 41名参加 ※申込定員40名から60名へ増枠

(2) 実施内容

① 講演

7月5日（土）：学校選びのポイント（桐ヶ丘高等学校校長による講演）

7月12日（土）：不登校児童とのかかわり方（星槎大学特任准教授による講演）

② 同・異学年グループによる交流（グループトーク）

③ 教育支援センターの事業紹介（大学内居場所、進学先個別相談会）

④ フレンドセンターの紹介

(3) アンケート結果（一部抜粋）

① 当事業を知った媒体

1位：すぐる 80.7%

2位：学校（チラシなど）13.2%

3位：区ホームページ2.4%

② 講演内容への満足度

とても満足・満足：97.5%

③ グループトークへの満足度

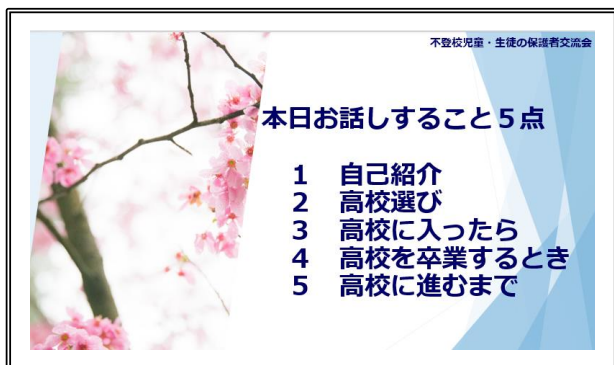
とても満足・満足：93.9%

④ 次回への参加

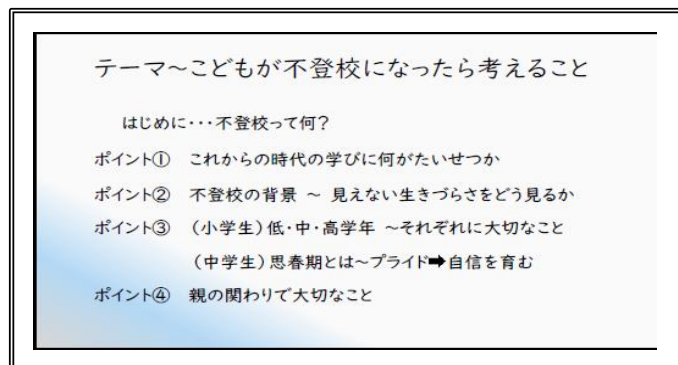
とても思う・思う：92.7%

⑤ 自由意見・感想

- 他学年の保護者の方とも話ができて、いろいろな情報交換ができてよかった。
- 専門家としての立場からだけではなく、元不登校の保護者の立場としての話がためになった。
- リアルな校長先生の想いを聞くことができて、子どもを通わせたいと素直に思えました。
- 初めての参加でしたが、講演がとてもためになりました。グループトークの組み合わせもよかったです。簡単なゲームをしたり、同じ悩みを持つ方と一緒にいたり、途中で席替えをしている方と話す機会があったりと、様々な配慮があったお陰で、緊張せずに参加できました。



中学生の部
【テーマ「高校選び」】



小学生の部
【テーマ「不登校児童とのかかわり方」】

5 不登校・不登校傾向の生徒のための高校個別相談会 ※継続事業（過去最高規模での実施）

(1) 実施日・場所

8月2日（土）教育支援センター

(2) 参加高校

21校（都立高校10校 私立高校11校 R7年度新規参加7校 ※下線あり）

① 都立高校（10校）

・桐ヶ丘高等学校 ・稔ヶ丘高等学校 ・六本木高等学校 ・小台橋高等学校 ・大江戸高等学校
・新宿山吹高等学校 ・一橋高等学校 ・板橋有徳高等学校 ・工芸高等学校 ・大山高等学校

② 私立高校（11校）

・大原学園美空高等学校 ・八州学園高等学校 ・飛鳥未来高等学校 ・飛鳥未来きずな高等学校
・大智学園高等学校 ・東京文理学院 ・CLARK NEXT Tokyo ・立志舎高等学校
・科学技術学園高等学校 ・N高等学校 ・代々木高等学校

(3) 参加者（生徒・保護者）

158名（参考：R6年度：100名 R5年度：120名 R4年度：60名 R3年度：47名）

(4) 実施内容

- ① 高校ごとの個別相談（22ブース）
- ② 教職員（指導主事）による進学相談（2ブース）
- ③ 板橋フレンドセンターへの通級相談（2ブース）
- ④ 学校案内パンフレット配布
- ⑤ 参加者アンケート実施

(5) アンケート結果（一部抜粋）

① 参加学年(保護者含む)

7 年生：11 名 8 年生：33 名 9 年生：114 名

② 当事業を知った媒体

1 位：すぐる 36.3%

2 位：学校からの紹介 21.3%

3 位：教育相談（心理相談）からの紹介 15.0%

4 位：区ホームページ 8.8%

5 位：SSW からの紹介、フレンドセンターからの紹介、保護者交流会 各 5.0%

③ 進学相談ブースを利用

25 組（参加 84 組のうち）

④ フレンドセンター通級相談ブースを利用

6 組（参加 84 組のうち）

⑤ 相談会の満足度

役立った、まあまあ役立った：93.1%

⑥ 自由意見・感想

●どのブースでも親切に教えてもらえたのが良かったです。まだ 7 年生ですが、将来のイメージがついてきました（保護者）

●学校の詳しいお話を直接伺うことができ、この学校だったら通えるかもと本人が前向きに思えたようで良かったです（保護者）

●進学相談ブースの担当者に親身になっていただきありがたいお話を聞くことができ来て良かった（生徒本人）

●いろいろな学校がある中で自分に合っている高校を見分けることができました（生徒本人）



【研修室を含めメディアセンターにも設置】



【様々な学校のパンフレットを配布】
(休憩スペース)

担当：教育支援センター

■教育支援係

電話：3 5 7 9－2 1 7 6

■教育相談係

電話：3 5 7 9－2 1 9 5

バーチャルフレンドパーク

板橋区では、東京都の提供する仮想空間を『バーチャルフレンドパーク』と呼んでいます。

バーチャルフレンドパークとは？

東京都の提供するオンライン上の3Dの仮想空間でアバターを操作し、コミュニケーションをとったり、活動に参加したりすることができます。



対面でのコミュニケーションが苦手

家を出ることが難しい

大人数の環境が苦手



さまざまな事情で普段の生活でほかの人との交流の機会が少ない児童・生徒が『バーチャルフレンドパーク』でのコミュニケーションや活動をとおして、

**人と繋がることの喜びや楽しさを実感し、
社会と繋がるきっかけとなる場を目指しています。**

支援内容

- 心理支援員が児童・生徒とコミュニケーションをとりながらイベントやゲーム、オンライン部活動等を行います。
- 自主学習用のWeb学習教材で学習することもできます。



活動実績

『バーチャルフレンドパーク』を定期的に利用することで、心理支援員との信頼関係を構築し、対面での個別支援である『ひみつきち』につながったケースがあります。



★利用者の声★

「午前中に参加する日は、特に早めに起きるようにして生活習慣がすごくよくなった」
「みなさんと沢山話したり、遊ぶことができて幸せだった」

ひみつきち



板橋フレンドセンター内に設置した新たな“居場所”を『ひみつきち』と呼んでいます。

ひみつきちとは？

小集団や他者とのかかわりに抵抗感を抱いており、板橋フレンドセンターにおける自立活動等への参加が難しい児童・生徒のために個別支援を実施します。

また、バーチャルフレンドパークを運営している支援員が「ひみつきち」にいますので、バーチャルからリアルの世界につながることもできます。



交流エリア



ソファでくつろぎながら漫画や本を読んで過ごすことができます



くつろぎエリア

心理支援員と対話をしながら、ボードゲームやお絵かきなどの活動を行うことができます



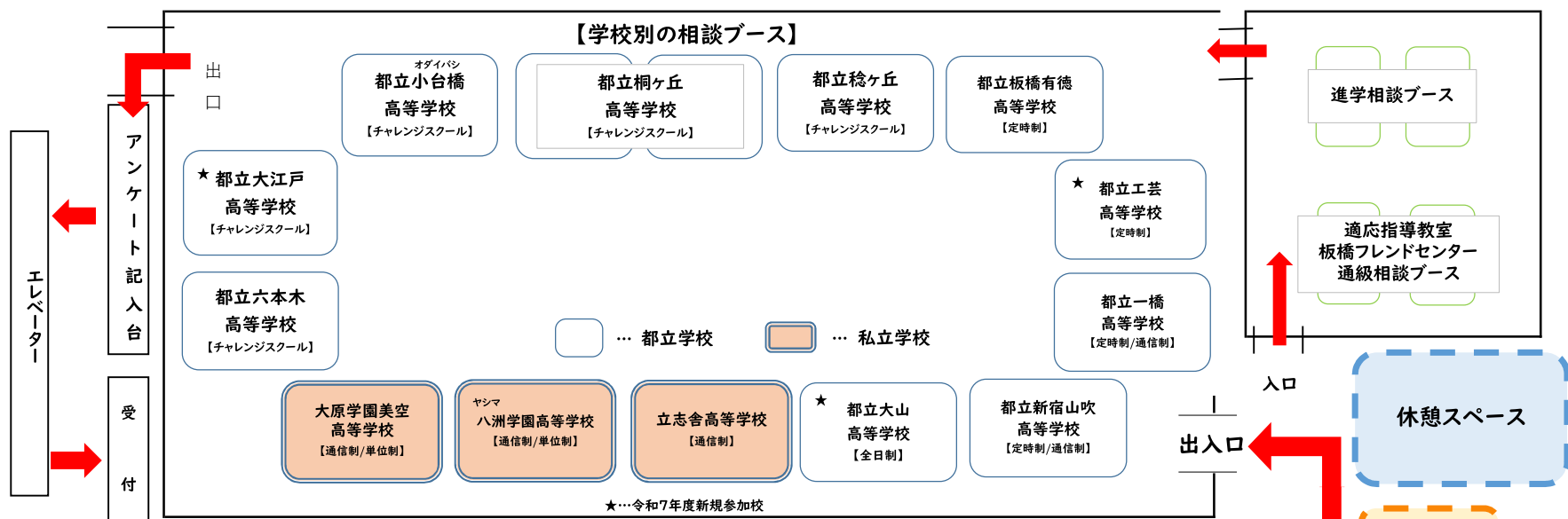
一人でゆっくり過ごしたい時には個別スペースで学習することができます

さまざまな事情で学校に行けず、ほかの人との交流の機会が少ない児童・生徒が『ひみつきち』でのコミュニケーションや活動をとおして、

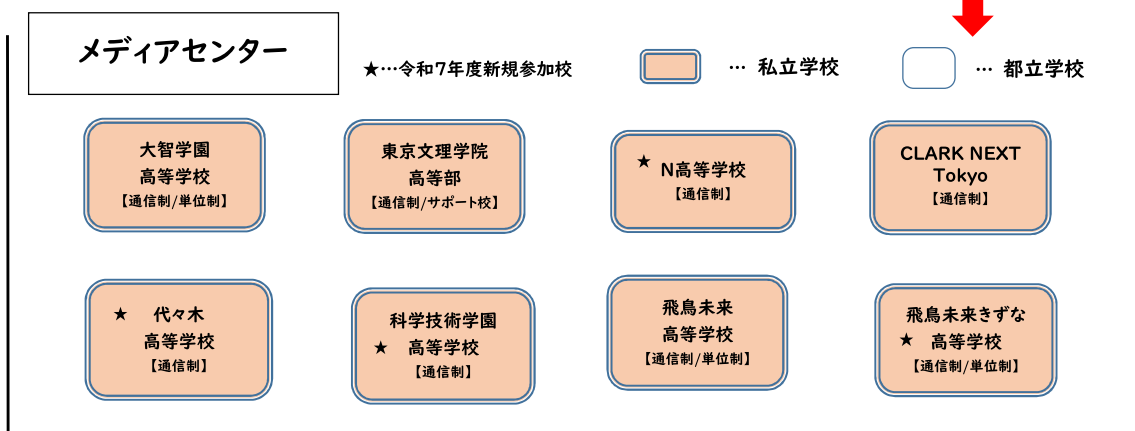
**人と繋がることの喜びや楽しさを実感し、
社会と繋がるきっかけとなる場を目指しています。**

➡『バーチャルフレンドパーク』から、対面での個別支援である『ひみつきち』につながったケースがあります！！

会場案内図



※矢印の順路に沿って、お進みください。



パンフレットのみの参加校も
ございますので、ぜひご確認ください。
※数に限りがありますので、ご了承ください。

